

平成18年度決算概要

学校法人津曲学園の18年度決算は、監事及び公認会計士の法定監査を終え、平成19年5月30日開催の評議員会並びに理事会に報告され、承認されましたので財政状況について報告します。

収支の概要

消費収支計算書より概要を説明すると次のようになりました。

消費収入は、帰属収入7,489百万円で17年度決算に比べて65百万円減少しました。

その主な要因は、学生納付金で17年度決算比238百万円の減少、補助金は99百万円の減少、雑収入は291百万円の増加(退職金財団交付金・退職金社団交付金等の増加)、

また、基本金組入額は163百万円でその主なものは、大学の進入路整備工事及び学生駐車場水銀灯の設置等であります。

消費収入合計は7,325百万円となり、17年度決算に比べて3百万円の減少になりました。

消費支出合計は、7,207百万円で17年度決算に比べて304百万円減少しました。

その主な要因は、人件費は手当等の改正で256百万円の減少、教育研究経費及び管理経費で46百万円減少しました。

しかし、このような厳しい中でも、教育研究充実の為、情報設備等は引き続き整備に努めてきました。

消費収支差額は、118百万円の収入超過となり、次年度繰越消費収入超過額は、791百万円となりました。